

## 【事例報告】

「浦和レッズ SDGs サークュラーエコノミーへの取組」

浦和レッドダイヤモンズ株式会社  
コーポレート本部スタジアム運営担当

早川 拓海 氏

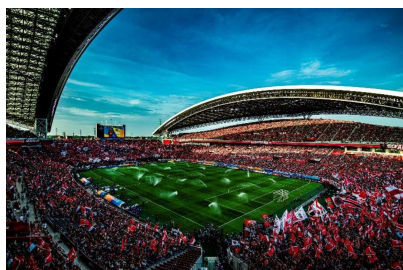
# 浦和レッズSDGs サークュラーエコノミーの取り組み

令和6年10月24日(木)  
浦和レッドダイヤモンズ株式会社  
コーポレート本部 スタジアム運営担当  
早川 拓海



## SPORTS FOR PEACE! | 浦和レッズの活動

浦和レッドダイヤモンズ(通称：浦和レッズ)は1992年3月10日に設立 リーグに所属し埼玉県さいたま市(旧浦和市)をホームタウンとするサッカークラブとして、男女プロチーム活動ほか、サッカーを通じて心をはぐくむ【ハートフルクラブ】や、総合型地域スポーツクラブ【レッズランド】の運営を実施。<青少年の健全な発育への寄与> <健全なレクリエーションの場の提供> <さいたまと世界をつなげる>を根本的な方針として活動を行っています。



浦和レッズはSDGs以前のMDGs(ミレニアム開発目標)より、試合運営やホームタウン活動、ハートフルクラブやレッズランドの運営などを通じて社会的課題の解決に向けて取組んでまいりましたが、サッカーという素晴らしいスポーツと深くかかわっているJリーグのクラブとして、我々が果たすべき役割をさらに強力に推進していくべく、クラブ内において【SDGs社内推進プロジェクトチーム】を立ち上げ「浦和レッズSDGs」における優先課題を掲げ、2023年4月に発表しました。



■ 取り組み一例

- ・埼玉スタジアム飲食売店におけるリユースカップの販売
- ・埼玉スタジアム売店でのビニール袋、カトラリー類、食器包材等の環境配慮型素材への順次切り替え
- ・子ども食堂との連携事業
- ・ハートフルクラブ 等

「浦和レッズSDGs」で取り組む重点施策として、令和5年度～埼玉県環境部資源循環推進課様、埼玉スタジアム管理事務所様、浦和レッズパートナーである株式会社エコ計画様、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様と連携し埼玉スタジアム2002で行われる浦和レッズホームゲーム全試合で実証実験を開始しました。実証実験ではペットボトルの3分別(ボトル・キャップ・ラベル)回収の啓発のため、毎試合での啓発ブース出展や大型映像装置で選手を起用した動画の放映、回収したペットボトルからマグカップを制作し売店での販売を行い、10月20日(金)は【サステナブルDAY】と銘打ちSDGsに特化した施策を展開する試合を開催しました。



鈴木 彩艶

啓発ブース

伊藤 敦樹

アップサイクルマグカップ



令和6年度からは新たな取り組みとして、埼玉スタジアム2002で行われた浦和レッズホームゲームにて排出された食品残渣を回収して堆肥化し、肥料を使用して野菜を育てる「埼玉スタジアムフードサイクルプロジェクト」に取り組んでいます。埼玉スタジアムで行われた2試合で排出された食糧廃棄物約20%を肥料として野菜を生育し、約200kg収穫。8/7(水)開催された明治安田J1リーグ第25節柏レイソル戦【サステナブルDAY】で収穫した野菜を使用した中華丼をスタジアムグルメとして販売、三菱重工浦和レッズレディースに所属する塩越柚歩選手も協力しました。本プロジェクトは日テレ系【ZIP!】内の「旅するエプロン」にも取り上げられ、企画内では栽培している野菜を使用したスタジアムグルメを考案(9/30放送)。今後、中華丼に続く第2弾としてスタジアムグルメの販売を予定しています。



浦和レッズ×パンのフェス等で  
排出された食品残渣を  
捨てずに回収し肥料化



野菜を栽培して  
収穫



【第1弾】  
中華丼販売



【第2弾】  
近日中販売予定



令和5年度から取り組んでいるペットボトルの3分別回収は令和6年度も継続し分別率は約70%まで向上しました。24シーズン終了までに80%に引き上げるべく様々な活動を行っています。

#### ■サーキュラーエコノミーブース

- ①4/28(日)2024明治安田J1リーグ 第10節 名古屋グランパス戦 観客数 42,265名
- ②6/30(日)2024明治安田J1リーグ 第21節 ジュビロ磐田戦 観客数 32,079名
- ③8/7(水)2024明治安田J1リーグ 第25節 柏レイソル戦【サステナブルDAY】 ※荒天中止
- ④9/21(土)2024明治安田J1リーグ 第31節 FC東京戦 観客数 41,379名
- ⑤10/5(土)2024明治安田J1リーグ 第33節 セレッソ大阪戦 観客数 32,129名

#### ■アップサイクル商品

- ・アップサイクルマグカップ 4,000個制作予定
- ・アップサイクルカトラリー 3,000本制作予定



#### ■ペットボトル3分別回収

- ・場内55箇所に設置されている3分別回収箱すべてに浦和レッズ選手サイン
- ・浦和レッズ全主催試合にて大型映像装置での呼びかけ



原口 元気





## 浦和レッズSDGs 優先重要課題

# REDS × SDGs

浦和レッズが優先的に取り組むSDGs目標6項目



こことからの  
豊かさを  
すべての人に

～社会の一員として青少年の健全な育成に寄与する～



SFPプロジェクト

草の根・東日本大震災等・安全なスタジアム・差別撲滅  
ハートフルクラブ  
レッズレディース、レッズランド など

サステナブルな  
スタジアムとまち

～地域社会に健全なレクリエーションの場を提供する～



スタジアムを軸とした環境問題への取組み  
地域に根差したホームタウン活動  
交通社会実験、美国スタジアムタウンビジョン2050 など

### SPORTS FOR PEACE!



We support the Sustainable Development Goals

レッズファミリーとの  
共感共創協働

～さいたまと世界をつなぐ窓になる～



すべてのステークホルダー(\*)とともに一丸となった  
社会課題解決への取組み  
海外クラブ提携によるノウハウのシェア など  
\*ファン・サポーター、パートナー、ホームタウン、浦和レッズに  
関わるすべてのみなさま